

由比地区直轄地すべり対策事業

3か年緊急対策

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時に効果が見込まれる事例

概要 要:計画規模の大雨や南海トラフ地震に伴い発生が想定される地すべりに対し、人家及び日本の大動脈である国道1号、東名高速道路及びJR東海道本線を保全することにより、人命及び日本経済が守られる。

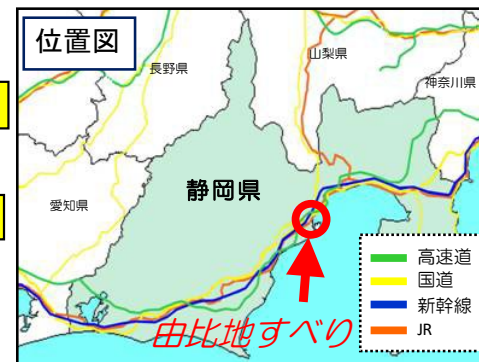
対策名:1-3 流域治水対策(砂防) <5か年加速化対策> 【国土交通省】

- 実施主体:国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所
- 実施場所:静岡県静岡市清水区由比
- 事業概要:由比地区は、日本の大動脈である国道1号、東名高速道路及びJR東海道本線といった重要な交通網が集中しており、地すべりが発生した場合、人的被害だけでなく、東西を結ぶ交通網が寸断されることによる甚大な経済被害が想定される。このため、地すべりの発生要因のひとつである地下水を排除する抑制工や構造物の持つ抵抗力を利用して地すべりの動きを直接止める抑止工といった対策を実施している。(令和12年度完了予定)その結果、無降雨時の地下水位が低下するとともに、令和6年台風第10号発生時には地下水位上昇が抑制されるなど、対策の効果が確認された。
- 全体事業費:約428億円(H17~R12)
- 事業費:約360億円(H17~R6実績)

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
地すべり対策事業	抑制工、抑止工	約360億円	H17~R6
うち3か年緊急対策	抑制工、抑止工	約5億円	H30~R2
うち5か年加速化対策	抑制工、抑止工	約16億円	R3~R5

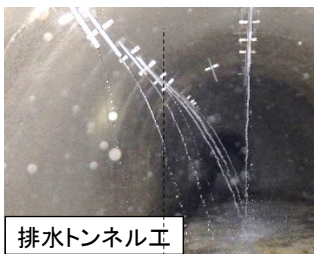
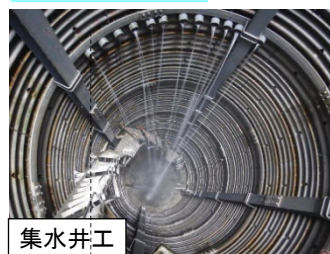
- 効果見込み:年超過確率1/100規模の大雨や南海トラフ地震で想定される震度6強の地震に対し、地すべりによる被害が軽減され、人家及び国道1号、東名高速道路及びJR東海道本線といった重要な交通網を保全することにより、人命及び日本経済が守られる。

【全景:保全対象との位置関係】

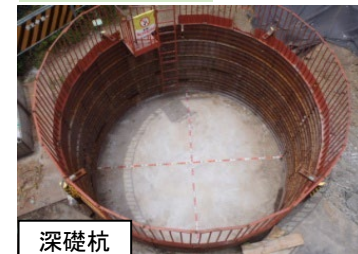


【主な対策工】

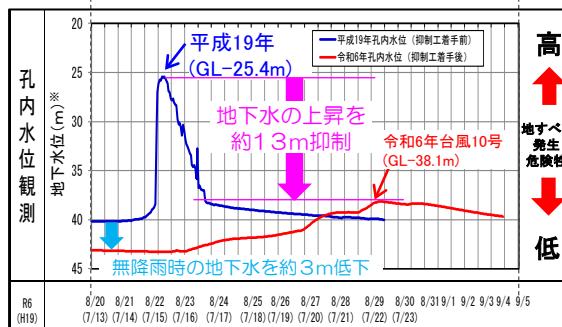
抑制工



抑止工



【対策の効果】



※地表面から地下水面までの距離

【対策工(イメージ)】

